

平成26年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493500217	事業の開始年月日	平成25年4月1日
		指定年月日	平成25年4月1日
法人名	株式会社メディカルケアシステム		
事業所名	グループホームちいさな手花咲く街横浜こすがや		
所在地	(247-0007) 横浜市栄区小菅ヶ谷1-27-5		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成27年2月17日	評価結果 市町村受理日	平成27年6月8日

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wp/Details.aspx?IGNO=ST1493500217&SVCD=320&THNO=14100
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご入居者様、スタッフ皆が明るく楽しく元気良くをモットーに、横浜こすがやでは特にレクリエーションに力を入れております。季節ごとの行事や日々のレクリエーションの他、鎌倉、江ノ島、ファミリーレストラン等へ外出の機会を多く設けております。また、近隣の中学校の職場体験の受け入れや近隣教会の子供達との交流も積極的に行っております。ホームは一日中太陽の日が当たり、ホーム内も白を基調としているので、とても明るい雰囲気になっております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成27年3月20日	評価機関 評価決定日	平成27年5月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所はJR京浜東北・根岸線 本郷台から徒歩11分の閑静な住宅街にあります。事業所のまわりには保育園・小中学校があり生活環境は抜群で、建物内は白を基調としており、リビングは明るく開放的な空間となっています。

<優れている点>
「明るく楽しく元気よく」をモットーに、お互いに相手の事を考え、言いたいことを言える環境作りを目指しています。その為、管理者と職員間および職員同士のコミュニケーションも良く、風通しの良い職場環境となっています。また職員が責任感を持ち、主役になれるようにレクリエーション担当などを決めていきます。ある日曜日には10家族が訪れるなど、家族がよく面会に来ています。毎月家族に送っている「花咲く街新聞」には家族の了解を得た利用者の良い顔の写りが載っています。管理者や職員は、頻繁に面会に訪れる家族とのコミュニケーションを深めるように努めています。家族会の気運が盛り上がり3月から5月開催に向け、計画をしています。管理者・ケアマネジャーを中心に新人職員の研修を始め、職員の内部研修に積極的に取り組み、レベルアップに努めています。また職員の資格取得に向けた外部研修も受講しやすいように支援しています。

<工夫点>
行事やレクリエーションの利用者の様子の写真を中心に、毎月発行する「花咲く街新聞」で家族などに知らせしています。また、必要な家族にはその画像データをUSBで提供して、家にいた時にはみられない笑顔があると喜ばれています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームちいさな手花咲く街横浜こすがや
ユニット名	1階

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝の申し送り時にクレドカードを使用して理念の共有を図り、同じ意識を持って取り組んでいます。	毎朝、申し送り時に職員全員が持っているクレドカードの法人理念を含む社是・規範などから一節を唱和しています。さらに “明るく楽しく元気よく” を付け加えモットーのようにしています。職員は同じ意識を持ち、実践につなげていくようにしています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ゴミ回収後の掃除、町内会議の参加、ご近所の皆様との挨拶などをさせて頂いております。月に1回の町内の組長会議に参加しています。	すぐ裏の保育園児がクリスマスに来て歌を歌ってくれたり、近くの中学生の職場体験を受け入れています。また、地域包括支援センターの紹介で近所の90歳を超える人が遊びに来るようになっていました。近くの中学校及び川で行う夏祭り・花火大会に参加しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	近隣中学校の職場体験や、ケアプラザを通じて傾聴ボランティアの受け入れを行い、認知症の理解、支援方法などを学んでいます。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議では活動内容の報告とともに参加された方々から質問やご要望を伺い、参考にさせていただき改善事項があれば改善するよう努めています。	今年度は運営推進会議を7回行っています。メンバーは利用者家族、町内会長、地域住民、地域包括支援センター職員、区高齢支援課職員です。会議で「撮った写真をUSBで欲しい。」、「何の薬を飲んでいるのか、教えて欲しい。」などの要望に対応しています。	今年度は多数の開催をすることが出来ています。今後も継続してメンバーのさらなる参加を期待します。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	区役所が主催するグループホーム連絡会に参加させて頂いています。	区高齢支援課とは運営推進会議やグループホーム連絡会・その研修会で接触を深めています。また地域包括支援センターとも交流しており、毎月の茶話会に出席できるようになっています。ここでの「いちかカフェ」は送迎もあるため、利用者の利用も検討しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の勉強会を行い、身体拘束をしないケアを徹底しています。ふらつきや転倒リスクが高い入居者様の動きを把握し歩行介助を行っています。そして、最期までその人らしい生活ができるよう支援しています。	管理者・ケアマネジャーによる身体拘束について勉強会を行っています。その事を活かし、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいます。玄関及び1階・2階の出入り口は玄関外の交通量が多い事および安全の為、施錠しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	ミーティングや勉強会を行い、高齢者虐待防止の指導を行っています。日頃から入居者様に対する言葉遣いも注意するようにしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	ミーティングなどで成年後見人制度のことを取り上げ、理解を深めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、解約時においては、文章の朗読を行い両者の合意のもと、御家族様に納得してから、印鑑を押して頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時に御家族様のご要望を伺いケアに反映しています。ご意見やご要望はミーティングや申し送りノートを使用し周知させています。また、月に1度はご家族様へ手紙を書いて近況を報告しています。	ある日曜日には10家族も訪れるなど、家族がよく面会に来ています。管理者は家族と話し、意見・要望を把握しています。利用者が外出したいとの希望から山下公園・江の島・レストランに行っています。毎月利用者の良い顔を含めた「花咲く街新聞」を家族に送っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎朝の申し送りやミーティングで個別ケアに関する問題をすぐに相談できるような環境作りを心掛けています。出された意見や提案はすぐにケアにいかすようにしています。	管理者は日常でも1階・2階にいて、職員と話をしています。年1回個人面談をしています。職員の提案からプランターからの枝を伸ばすようにし、利用者が毎日延びる枝を楽しみに見る様にしてあります。また職員が主役になれるようにレクリエーション担当を決めています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員一人一人に役割を持たせ、責任を持って遂行してもらい中でやりがいと充実感をもってもらえるように努めています。職員の疲労やストレスも把握し、働きやすい環境を心掛けています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めています。	法人内の委員会に参加後、ホームに持ち帰り情報を共有しています。また、介助方法で困った事があれば実際に介助しながら指導し技術向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	グループホーム間の交換研修を行い、質の向上に努めています。法人内の他のホームへの見学などを通じて、環境の違いやケアの違いなどを知るなど学ぶ機会を作っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居間もない頃は馴染めずに不安な様子をされていることが多いので、入居者様が何を思い、何を望んでいるのかなどを伺い・観察し不安感を少なくし安心してもらえるよう努めています。入居者様の情報シートを用いて、ケアに取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前に御家族様より御本人様の情報を詳しく教えて頂き、初期のケアプランに反映させています。またご利用者のケアだけでなく御家族様の負担についても気を配るようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様とご家族様が何を望んでいるのかを第一に考え、サービスの提供を検討しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	言葉使いに気をつけながらもご利用者様とスタッフが家族の様な関係になれるようにしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご利用者様と御家族様の関係を大切にして頂く為に、面会や外出、外泊は基本的に自由にして頂いております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	外出や面会を自由にして頂き、馴染みの場所や人との関係が途切れないようにしています。	馴染みの江ノ島・八景島に出かけています。習字を教えていた人が今も墨を磨り習字をしています。また、絵をずっと描いていた人も部屋で、クレヨン・色鉛筆で描いています。馴染みのスーパーに買い物がてら家族の家に遊びに行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	個別支援を大切にしながらも、季節の行事やお散歩等は1階2階合同で行ったりして利用者様同士の関わり合いを持つようにしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ホームでお看取りをさせて頂いた御利用者様のお通夜に出席したり、ご家族様よりお手紙を頂いたりしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	共同生活の場所ですが、本人の希望や意向を出来る限り反映出来るように努めています。	入居当初は、アセスメントにまとめています。その後、3ヶ月毎に確認し、必要な内容は個人記録に記入しています。今できる時に、やりたいことを中心に、思いや意向を把握しています。食べたい、行きたいは可能な限り、行なうよう努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご利用者様の出身地や職業、御兄弟、御家族様の状況についての把握に努めて日常のコミュニケーションを活性化させている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の申し送りでご利用者様の状態変化に気を配っています。2週に1度の訪問診療では医師と看護師より医学的な変化にもアドバイスをいただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	御本人様、ご家族様、医師、看護師、マッサージ師、スタッフの意見を取り入れてのケアプランの作成に努めています。	ケアプランは短期3ヶ月、長期6ヶ月に見直しています。毎月ミーティング時に、対象者のカンファレンスを行いケアプランを見直しています。カンファレンスには管理者・ケアマネジャー・職員で行い面会で来る家族に説明し、了解をもらっています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ご利用者様の変化を個人記録や毎日の申し送りで記録に残し、ケアプランの変更に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	御家族様のご意見やご要望に出来る限りこたえられるように努力しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域のケアプラザや中学校、教会との交流を通して楽しく豊かな生活ができるように努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月に2回の訪問診療を通して医療について不安が無い様にしています。	かかりつけ医は利用者や家族が決めています。ほとんどの利用者が月2回訪問診療のある協力医をかかりつけ医としています。通院は家族付添いが原則ですが、緊急の場合など職員が付添う時もあります。受診結果などは関係者が情報を共有し、対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	ご利用者様の変化を看護師に伝えていきます。必要に応じて24時間のオンコール対応をして頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関である栄共済病院と戸塚白百合クリニックとの関係作りに努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時にホームでの看取りの指針をお伝えしています。	看取りの実績はまだありませんが、「看取りの指針」に則り、利用者や家族・医師などと事前に話し合い看取りを行う体制はできています。また、重度化した場合についても、利用者や家族などと話し合い対応することになっています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	事故対策マニュアルの活用と応急手当のやり方を消防署職員と看護師から指導頂き、実戦力を身に付けるようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年に2回の防災訓練を実施して災害対策に努めています。	年2回の夜間を想定した避難訓練、その内1回は消防署の立ち合いで実施しています。消火器・スプリンクラー・火災報知器および通報装置も装備されています。災害に備えた水や非常食なども本部からの手配で、3日から5日分備蓄しています。	まだ事業所の開設から間もないために避難訓練に地域の参加がありません。今後、地域の協力も得て、万が一に備える体制を構築されることが期待されます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	トイレ、入浴、着替え時にはプライバシーが守れるように気をつけ、声掛けや言葉遣いにも気をつけています。	利用者の尊厳を守るよう研修などを通じて職員に徹底しています。利用者への呼びかけも苗字にさん付けで行っています。他の利用者に聞かれたくない話は利用者の居室で行っています。利用者の写真を「花咲く街新聞」に掲載することなども事前に了承を得ています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様が出来る事や、やって頂ける事はやって頂き、職員が決めつけるような声掛けや対応をしないように気をつけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1人1人の生活のリズムを把握したうえで、散歩やお昼寝、レクの時間を強制する事なく過ごして頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	身だしなみでは爪切りや、髭剃り、月に1回の理美容を行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	それぞれが自分の役割を持って調理に関しては食材を切ったり味見をして頂き。配膳、食器洗い、食器拭きをして下さりやりがいや生きがいに繋がっています。	食事メニューの作成や食材の納入は業者が行っていますが、利用者の希望も反映しています。オープンキッチンで、職員が利用者の刻み食などの食事形態別や嗜好などに合わせて調理しています。利用者と職員は一緒に食事したり後片付けなども行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	I N O U Tチェック表を作成し、毎日の排泄、水分摂取量を把握して日々のケアに活かしています。また健康管理表で体重の増減を把握しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後に口腔ケアを実施しています。必要に応じて訪問歯科を利用しての口腔ケアと磨き残しのあるご入居者様や介助の必要なご入居者様は職員が確認して介助させて頂いています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	介護度が重くても介護者の都合ですぐにオムツやリハビリパンツにせず、その方に適しトイレ誘導の声掛けをして排泄の介助を行っています。	利用者はできるだけトイレで排泄するように支援しています。排泄チェック表を活用し、トイレ誘導のタイミングを計っています。また、利用者の様子やしぐさから判断して、利用者の尊厳を尊重した声掛けでトイレ誘導し、トイレでの排泄を促しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎日排便の有無を確認しているとともに医療と連携しながら適切な下剤の調整を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴の日には1週間に2回ではなく3回に設定しています。入浴日も固定して決めていなく、その日のご入居者様の希望に応じて入浴して頂いています。	入浴は原則として週3回行っています。入浴はリネン交換のある日曜日を除き、その日の利用者の希望に応じて行っています。浴槽は個浴ですが、利用者が足を伸ばして入浴できる広さがあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	天気が良い日には散歩をしたりレクに参加して頂くようにして、良く睡眠できるようにしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の内容が変更した時は看護師と薬剤師から、変更した内容について詳しく教えて頂き、申し送りノートにも記入しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	料理、洗濯、掃除、日常生活で必要なことについて無理をせずに出来る範囲で行って頂いています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	毎日のレクリエーションの時間には出来る限り散歩に出掛けられるようにしています。お買い物の希望がある方については個別で一緒に買いに出掛けたりしています。	毎日のレクリエーションの時間に散歩にできるだけ出かけています。個別で買い物や食事、近所の教会に礼拝に出かける利用者もいます。家族が付添い、お茶や食事に外出することもあります。また、地域の夏祭りや花火大会の見学にも出かけています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	買い物へは出来る限りご利用者様と一緒に行くようにして、買い物を楽しんでいただける様に支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族様に連絡を取りたいと希望される方に対してはスタッフが電話を掛けて、ご本人様に代わって話をされ、手紙の希望のある方は便箋等を用意して希望に添えるようにしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関・廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	毎日清掃を欠かさず、整理整頓に努めています。眩しい光にはカーテン、空気の喚起、手すりやトイレ、床をハイターで清掃し、心地よい環境作りに努めています。	玄関・廊下・リビング兼食堂は、テーブルや椅子を含めて白を基調として統一され、明るく落ち着いた雰囲気になっています。リビングの外にはウッドデッキがあり、外気浴を楽しんでいます。また、庭の花壇では、季節の花々が利用者を和ましています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	テーブルだけでなく、ソファやテラスで日光浴をされたり、庭の花壇をご覧になりながら、ご自分の時間を過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室内には出来る限り自宅で使用されていた馴染みの物を持って来て頂き、精神的な安定が図れるようにしています。足りない物はご家族様にお伝えし揃えて頂いています。	居室には位牌・書道道具・写真など利用者の馴染みの物を家族と相談して持込み、心地よく生活できるように工夫しています。また、居室の入り口には、利用者ごとに飾りが違う表札が飾られ、利用者の居室の目印となっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリー構造で、エレベーターもあり、車椅子でも1階と2階の行き来ができるようになっています。見守りの方は手摺を使用させて頂いています。		

事業所名	グループホームちいさな手花咲く街横浜こすがや
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝の申し送り時にクレドカードを使用して理念の共有を図り、同じ意識を持って取り組んでいます。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ゴミ回収後の掃除、町内会議の参加、ご近所の皆様との挨拶などをさせて頂いております。月に1回の町内の組長会議に参加しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	近隣中学校の職場体験や、ケアプラザを通じて傾聴ボランティアの受け入れを行い、認知症の理解、支援方法などを学んでいます。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議では活動内容の報告とともに参加された方々から質問やご要望を伺い、参考にさせていただき改善事項があれば改善するよう努めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	区役所が主催するグループホーム連絡会に参加させて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の勉強会を行い、身体拘束をしないケアを徹底しています。就寝時に起き上がりで転倒リスクの高い入居者様は、ベッドを使用せず床に布団を敷いています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	ミーティングや勉強会を行い、高齢者虐待防止の指導を行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	ミーティングなどで成年後見人制度のことを取り上げ、理解を深めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、解約時においては、文章の朗読を行い両者の合意のもと、御家族様に納得してから、印鑑を押して頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会やケアプラン変更の際に御家族様のご要望を伺いケアに反映しています。ご意見やご要望はミーティングや申し送りノートを使用し周知させています。また、月に1度はご家族様へ手紙を書いて近況を報告しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	個別に意見交換の機会を設け、話しやすい環境作りに努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員一人一人に役割を持たせ、責任を持って遂行してもらう中でやりがいと充実感をもってもらえるように努めています。職員の疲労やストレスも把握し、働きやすい環境を心掛けています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内の委員会に参加後、ホームに持ち帰り情報を共有しています。また、介助方法で困った事があれば実際に介助しながら指導し技術向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	グループホーム間の交換研修を行い、質の向上に努めています。法人内の他のホームへの見学などを通じて、環境の違いやケアの違いなどを知るなど学ぶ機会を作っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居間もない頃は馴染めずに不安な様子をされていることが多いので、入居者様が何を思い、何を望んでいるのかなどを伺い・観察し不安感を少なくし安心してもらえるよう努めています。入居者様の情報シートを用いて、ケアに取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前に御家族様より御本人様の情報を詳しく教えて頂き、初期のケアプランに反映させています。またご利用者のケアだけでなく御家族様の負担についても気を配るようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様とご家族様が何を望んでいるのかを第一に考え、サービスの提供を検討しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	敬う心で接し、気兼ねなく何でも話して頂ける家族のような関係を築けるよう努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご利用者様と御家族様の関係を大切にして頂く為に、面会や外出、外泊は基本的に自由にして頂いております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	外出や面会を自由にして頂き、馴染みの場所や人との関係が途切れないようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	季節の行事だけではなく、日々のレクを通じて関わりを持って頂いています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ホームでお看取りをさせて頂いた御利用者様のお通夜に出席したり、ご家族様よりお手紙を頂いたりしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	共同生活の場所ですが、居室はご本人様の馴染みのある物を使用して頂き、本人の希望や意向を出来る限り反映出来るように努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご利用者様の出身地や職業、御兄弟、御家族様の状況についての把握に努めて日常のコミュニケーションを活性化させている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の申し送りでご利用者様の状態変化に気を配っています。2週に1度の訪問診療では医師と看護師より医学的な変化にもアドバイスをいただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	御本人様、ご家族様、医師、看護師、マッサージ師、スタッフの意見を取り入れてのケアプランの作成に努めています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ご利用者様の変化を個人記録や毎日の申し送りで記録に残し、ケアプランの変更に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご本人様の心身状態の変化や、ご家族様の意向に添えるように努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域のケアプラザや中学校、教会との交流を通して楽しく豊かな生活ができるように努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月に2回の訪問診療を通して医療について不安が無い様にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	ご利用者様の変化を看護師に伝えていきます。必要に応じて24時間のオンコール対応をして頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関である栄共済病院と戸塚白百合クリニックとの関係作りに努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合には、ご家族様に状態や対応方法などを密に連絡しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	事故対策マニュアルの活用と応急手当のやり方を消防署職員と看護師から指導頂き、実践力を身に付けるようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年に2回の防災訓練を実施して災害対策に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	トイレ、入浴、着替え時にはプライバシーが守れるように気をつけ、声掛けや言葉遣いにも気をつけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様の意向をお聞きし、自分らしい生き方が出来るよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1人1人の生活のリズムを把握したうえで、散歩やお昼寝、食事の時間等を強制する事なく調整しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	身だしなみでは特に爪切りや、髭剃りに気を配り、衣類選びはご本人様の希望をお聞きしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	苦手な食材を変更したり、食べやすい大きさや盛り付けをしています。片付けは職員と一緒にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	I N O U Tチェック表を作成し、毎日の排泄、水分摂取量を把握して日々のケアに活かしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後に口腔ケアを実施しています。必要に応じて訪問歯科を利用しての口腔ケアと職員への指導を頂いています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄時間をチェックして誘導を行い、その方に適した排泄の介助を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎日排便の有無を確認しています。運動を行うと共に医療と連携しながら適切な下剤の調整を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴の日には1週間に2回ではなく3回に設定しています。入浴日も固定して決めていなく、その日の状況に応じて入浴して頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中は活動的に過ごして頂き、夜間は安眠できるよう支援をしています。日中にも疲労の状態により静養して頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の効能や注意事項は処方箋を確認し、随時看護師と薬剤師から説明を受けています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	洗濯物たたみ、食器拭き、花の水やり等出来る範囲でやっています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	気候の良い日には散歩に出掛け、遠出は車椅子や車でドライブに出掛けています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	買い物へは出来る限りご利用者様と一緒に行くようにして、買い物を楽しんで頂ける様に支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	御家族様への手紙の希望がある方や、電話でのお話の希望がある方に対して希望に添えるようにしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	毎日清掃を欠かさず、整理整頓に努めています。眩しい光にはカーテン、空気の喚起、手すりやトイレ、床をハイターで清掃し、心地よい環境作りに努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	テーブルだけでなく、ソファーや居室で、自分の思い思いの場所で過ごして頂けるようになっていきます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室内には出来る限り自宅で使用されていた馴染の物を持って来て頂き、精神的な安定が図れるように努めています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリー構造で、エレベーターもあり、車椅子でも1階と2階の行き来が出来るようになっていきます。		

平成26年度

目標達成計画

事業所名 グループホームちいさな手花咲く街横浜こすがや

作成日： 平成 27 年 6 月 6 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議で今年度は多数の開催をする事が出来ています。今後も継続してメンバーのされなる参加を期待します。	いつも同じメンバーになりがちなので、ご家族様、民生委員、地域の方にも参加して頂けるようにする。	家族会で運営推進会議への参加を呼び掛ける。民生委員、ルーテル教会等に参加を呼び掛ける。	6ヶ月
2	13	まだ事業所の開設から間もないために避難訓練に地域の参加がありません。今後、地域の協力も得て、万が一に備える体制を構築されることが期待されます。	年2回実施される避難訓練に地域の方にも周知して沢山の方に参加して頂けるようにする。	近隣にお住いの方、ルーテル教会の方にも参加して頂けるように周知する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月